

1. 略歴

- 1983年3月 東京大学文学部印度哲学印度文学専修課程卒業(学士)
1983年4月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学印度文学専攻修士課程入学
1986年3月 同大学院 (印度哲学印度文学専攻) 修士課程修了(修士)
1986年4月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学印度文学専攻博士課程進学
1990年3月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学印度文学専攻博士課程単位取得退学
1991年4月 日本学術振興会特別研究員 (平成5年3月迄)
1998年4月 愛知学院大学文学部日本文化学科 助教授 (平成16年1月迄)
1998年10月 博士 (文学) の学位取得
2004年1月 愛知学院大学文学部日本文化学科 教授
2010年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 教授

2. 主な研究活動**a 専門分野**

仏教学、東アジアの仏教及び日本仏教に関する研究。

b 研究課題

東アジアにおける仏教の研究。特に日本仏教における修行、学問に関する研究を行っている。学問に関わるところでは、古代の論義に関する研究を南都に残された法会資料を用いながら考察を進めており、古代から中世に掛けて行われた仏教教理に関する論争に焦点を当てている。また修行道に関する研究は、東南アジアや東アジア世界に伝わる修行の実際に注意を払いながら、東アジア世界に残された文献資料を用いて、修行道の内容を明らかにすることを目指して研究を進めている。また、昨年度より台湾における人間仏教の研究も視野にいれている。

c 主要業績**(1) 著書**

共著、蓑輪頭量、『アジアの仏教と神々』、法蔵館、2012.3

(2) 論文

蓑輪頭量、「韓国における仏教と神信仰の関係：神仏の併存と分離について」、『パーリ学仏教文化学』、26、169-191頁、2012.5

蓑輪頭量、「<仏教学>再考—教理研究と修行実践」、『日本仏教総合研究』、第10巻 (2011年度号)、147-166頁、2012.5

蓑輪頭量、「良遍の『真心要決』と禅」、『印度学仏教学研究』、61-2、1-10頁、2013.3

蓑輪頭量、「仏教における瞑想とその展開」、『身心変容技法』、2、87-96頁、2013.3

蓑輪頭量、「宗性撰『無料義経論義抄』について」、『奥田慈應先生頌寿記念インド学仏教学論集』、961-974頁、2014.3

蓑輪頭量、「中世東大寺僧に見る禅宗の影響—凝然の場合—」、『印度学仏教学研究』、62-2(132)、167-174頁、2014.3

(3) 学会発表

国内、蓑輪頭量、「明治期における大乘非仏説論—村上专精を中心に」、東方学会学術大会、神田・東方会館、2012.5

国内、蓑輪頭量、「良遍の『真心要決』と禅」、日本印度学仏教学会第63回学術大会、神奈川県鶴見・鶴見大学、2012.6

国内、蓑輪頭量、「中世東大寺僧に見る禅宗の影響—凝然の場合」、日本印度学仏教学会第64回学術大会、島根県松江市島根県民会館、2013.8.31

国内、蓑輪頭量、「中世禅宗の南都僧に与えた影響—凝然の場合」、日本印度学仏教学会、2013.9.1

国内、蓑輪頭量、「中世南都の僧侶に与えた禅宗の影響」、東アジア仏教研究会、駒澤大学246号会館、2013.12.7

(4) 監修

蓑輪頭量、『事典 日本の仏教』、吉川弘文館、2014.2

3. 主な社会活動**(1) 他機関での講義等**

非常勤講師、東洋大学文学部、「日本仏教の歩みA・B」、2012.4～

非常勤講師、国際仏教学大学院大学、「仏教と生命倫理」、2012.4～
非常勤講師、武蔵野大学通信教育部、「生活仏教」、2012.4～2013.3
特別講演、千葉市文化振興財団、「仏教伝来とその地域の歴史ーインド・中国そして日本」、2012.9
非常勤講師、亀田医療技術専門学校、「哲学（集中講義）」、2012.9
特別講演、東京大学文学部北見市公開講座、「仏教の目指したものー一心を見つめる」、2012.10
特別講演、東京大学文学部公開講座、「仏教のめざしたものー一心を見つめる」、2012.11
特別講演、日蓮宗現代宗教研究所、「中世仏教界における遁世ーその成立の背景と集団としての成立」、2013.1
特別講演、築地がんセンター JOC 企画、「医療と精神文化ー自己決定権の問題点とその解決へ向けて」、2013.2
特別講演、真宗東本願寺派日曜講演会、「仏教の修行道の目指したものと真宗の教え」、2013.10
特別講演、伊勢国際宗教フォーラム、「中世の仏教と伊勢神宮ー伊勢を訪ねた仏教者」、2013.11
特別講演、東大寺総合文化センター、「寺僧と遁世門の活躍ー戒律・禅・浄土の視点から」、2013.11
特別講演、JR 東海/奈良県主催 奈良学文化講座、「鑑真の伝えた戒律と心の観察法」、2014.2

(2) 学会

国内、日本仏教総合研究学会、会長、2012.4～
国内、東アジア仏教研究会、会長、2013.4～